

News Releases

報道関係者各位

建築重量工事や土木現場の省力化とコスト削減に貢献 先行手すり工法の支保工システム 最大許容支持力 49.1kN の『アルバトロス強力斜材』を 3 社で開発

2023 年 6 月 20 日

株式会社 杉孝グループホールディングス（本社：神奈川県横浜市 代表取締役 社長執行役員：杉山 信夫「SUGIKO GHD」）、アルインコ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：小林 宣夫）、株式会社国元商会（本社：大阪府大阪市中央区 代表取締役：前泉 匡宏）の3社は、先行手すり足場『アルバトロス』専用の強力斜材を共同開発しました。

これまでの、先行手すり足場部材だけでは建築重量支保工や土木現場（橋・トンネル・法面）での許容支持力が確保できないケースがあり、その場合、お客様側で重量支保工材を別途手配する必要がありました。重量支保工材は足場との互換性が低く、部材が重いことから、施工に時間を要するため、お客様にとって多くの手間とコストがかかっていました。そこで、建築重量工事や土木現場でも施工性や操作性の高い先行手すり工法で、スラブ厚が厚い現場の支保工の支持力を満たすことができれば、多くの現場の省力化とコスト削減、工期短縮に貢献できると考え、SUGIKOからアルインコと国元商会へ開発協力を依頼。2021年3月から約2年をかけてアルバトロスの強化斜材の共同開発を行いました。2023年6月末からSUGIKOの首都圏エリアの機材センターに順次納品されレンタルを開始する予定です。私たちは、これからも現場の課題やニーズをヒアリングし、新しい機材開発を通じて、現場の安全と効率に取り組んでいきます。

【開発機材】

名 称：アルバトロス強化斜材

特 徴：◇支柱 1 本あたりの最大許容支持力

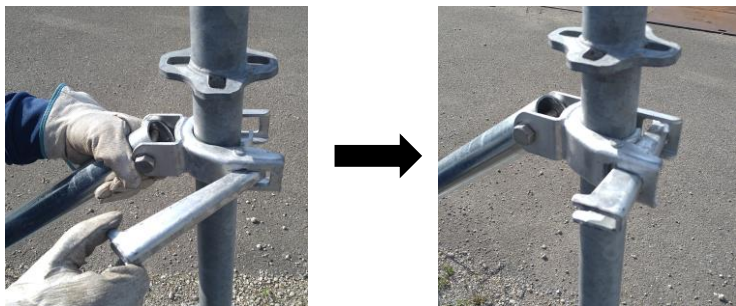
強力斜材無し・・・33.5kN

強力斜材有り・・・**49.1kN**（～45.0kN）

※組み方によって荷重が異なります。

◇3 社共同で特許出願中

取付方法：3 回程度のクサビ打ち込みで取り付け完了



▲強度試験場での様子

お問い合わせ 株式会社 杉孝

TEL：045-444-0835

担当：総務課広報 福家（ふけ）

携帯：090-9017-8667

E-MAIL：s-fuke@sugiko.co.jp